

令和5年3月31日

令和4年度 特別の教育課程の実施状況等について

茨城県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
鹿嶋市立三笠小学校（外 10 校）	鹿嶋市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の 公表ウェブサイト名・URL 等	学校関係者評価結果の 公表ウェブサイト名・URL 等
鹿嶋市立三笠小学校	http://www.kashima.ed.jp/~mikasa-el/wp/?page_id=24990	http://www.kashima.ed.jp/~mikasa-el/wp/?page_id=24990

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

これからの時代において必要とされるグローバルな視野を持った人材を早期から育成するため、小学校第1学年及び第2学年の生活科20時間を外国語活動に替えて実施する。

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

本市は常陸国一の宮鹿島神宮の門前町として栄え、発展してきた。また、2002年にはFIFAワールドカップの会場地となり、2020年には東京オリンピックサッカー競技が開催された。歴史的伝統とスポーツによる活力あるまちであり、「子どもが元気 香る歴史とスポーツで紡ぐまち 鹿嶋」を本市総合計画における将来像に掲げている。世界の人々とのコミュニケーションをとおして、本市の魅力を世界に発信していくことができるグローバルな人材育成をより一層推進することが、本市の発展と教育活動の充実に必要であると考え、教育課程の特別措置申請を行うこととした。

(3) 特例の適用開始日

2007年4月

2018年4月 変更

(4) 取組の期間

2030年4月まで

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- | |
|---|
| ☒ 計画通り実施できている
☐ 一部、計画通り実施できていない
☐ ほとんど計画通り実施できていない |
|---|

(2) 実施状況に関する特記事項

なし。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- | |
|--|
| ☒ 実施している
☐ 実施していない |
|--|

<特記事項>

(1) 第1学年児童による評価

① 外国語活動の時間は、楽しいですか。			
楽しい	どちらかというと楽しい	どちらかというと楽しくない	楽しくない
71.3%	21.4%	5.1%	2.2%

② ALT と英語で話したり活動したりするのは楽しいですか。			
楽しい	どちらかというと楽しい	どちらかというと楽しくない	楽しくない
70.5%	22.0%	5.1%	2.4%

③ 英語を話せるようになりたいですか。			
話せるようになりたい	どちらかというと話せるようになりたい	どちらかというと話せるようにならなくてもよい	話せなくてもよい
86.0%	12.5%	0.7%	0.8%

④ 外国のことをもっと知りたいですか。			
知りたい	どちらかというと知りたい	あまり知りたくない	知らなくてよい
71.3%	20.5%	7.5%	0.7%

第2学年児童による評価

① 外国語活動の時間は、楽しいですか。			
楽しい	どちらかという 楽しい	どちらかという 楽しくない	楽しくない
64.8%	28.3%	5.4%	1.5%

② ALT と英語で話したり活動したりするのは楽しいですか。			
楽しい	どちらかという 楽しい	どちらかという 楽しくない	楽しくない
64.8%	33.1%	1.5%	0.6%

③ 英語を話せるようになりたいですか。			
話せるようになり たい	どちらかという 話せるようになり たい	どちらかという 話せるようになら なくてもよい	話せなくてもよい
77.0%	30.0%	2.0%	0%

④ 外国のことをもっと知りたいですか。			
知りたい	どちらかという 知りたい	あまり知りたくな い	知らなくてよい
66.8%	26.6%	6.0%	0.6%

(3) 教職員による評価

① 第1学年からの外国語活動の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。			
思う	どちらかという 思う	どちらかという 思わない	思わない
28.5%	71.5%	0.0%	0%

② 第1学年からの外国語活動の実施は、英語に慣れ親しむことにつながっていると思いますか。			
思う	どちらかという 思う	どちらかという 思わない	思わない
78.6%	21.4%	0%	0%

③ 第1学年からの外国語活動の実施によって、外国の文化(生活, 習慣, 行事等)に対する興味・関心が高まっていると思いますか。			
思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
50.0%	50.0%	0.0%	0%

④ 第1学年及び第2学年からの外国語活動に期待することは何ですか。 (自由記述)			
・『外国語は楽しい』と思う気持ちをもたせること ・いつまでも、外国語活動は楽しいと感じられるものであってほしいです ・リスニング、英語への抵抗感削減 ・リスニング力の強化 ・英語が楽しいと思える児童が増えることを期待する ・英語に慣れ親しみ、コミュニケーション能力が高まること ・英語に親しみ、楽しく学ぶ意欲を育てること ・英語は、難しい教科ではなく、楽しむ教科ということを体験できれば…と思います ・英語を使う楽しさ ・外国に対する興味が高まること ・楽しく英語を学べること ・楽しく活動しながら、英語に親しめればいいのかと思っています。 ・低学年のうちから英語に親しむことにより、英語でのコミュニケーション能力を高めること ・勉強として学習するのではなく、楽しい活動として取り組み、苦手意識を持たずに活動できること			

(4) 保護者による評価

① 第1学年からの外国語活動の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。			
思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
54.0%	34.6%	7.4%	4.0%

② 第1学年からの外国語活動の実施は、英語に慣れ親しむことにつながっていると思いますか。			
思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
65.3%	27.5%	5.1%	2.1%

③ 第1学年からの外国語活動の実施によって、外国の文化(生活, 習慣, 行事等)			
--	--	--	--

に対する興味・関心が高まっていると思いますか。			
思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
46.9%	42.9%	5.1%	5.1%

④ 第1学年及び第2学年からの外国語活動に期待することは何ですか。 (自由記述)
・ 英語に興味を持つこと ・ 英語を楽しむこと ・ 英語に慣れ親しむことのできる内容であること ・ ネイティブの教員から指導を受けること。英語に慣れ親しむことのできる内容であること ・ 広い視野を持つことや色んな人や言葉や生活習慣がある事を知って、それを尊し、自分の事も大切にする事ができたらいいなと思う ・ 語学力向上や好奇心の育成 ・ 言葉を通して、色々体験することで視野が広がること ・ 日常の中にも英語を取り入れる工夫 ・ 英語に親しみを感じてほしい ・ 英語に少しでも興味を持ってくれること ・ 学年が上がっていったときに苦手意識がなく、スムーズに授業を受け入れられること。 ・ ホームワークなども出して欲しいことやパソコンで発音や英語の音楽、歌なども家庭で見れるような資料、動画などあったらいいと思う ・ 英語が特別な言語ではなく身近なものと感じ、楽しい学習意欲となり、英語を学ぶことに対して今後抵抗がなくなるようになってくれたらと思います ・ 聞き取りやすく、自分が知っている単語がわかりやすければ、もっと積極的に楽しめるのではないかと思います ・ 幼いうちから外国語に触れるほうが、耳が育ちリスニングの力が付くと聞いたことがあるので、聞いたり発音したり、楽しんで外国語に触れられると良いと思います ・ 英語でコミュニケーションを取ることが楽しいと思えるようになること ・ 高学年・中学生でオールイングリッシュの授業でも気後れしない度胸がつくこと ・ 外国・外国文化への興味を持ってくれること ・ 日本語以外を話したり聞いたりするのが当たり前な生活で育ってほしい ・ 外国人とのふれあい機会を増やし、外国人と接するときの垣根を下げしてほしい ・ 英会話を身につけるきっかけになって欲しい ・ 日常生活に関連した英語や、コミュニケーションを体験できると良いと思います

- ・外国の方に対して偏見を持つことなく、接することができる。日常会話ができるようになること
- ・勉強の英語より遊びながら、英語に親しめる活動を期待します
- ・勉強というより、日常として構えず取り組めるといい
- ・子どもが英語嫌いにならないようにして欲しい
- ・外国の文化や言葉に慣れ親しんでくれたらいいなと思います
- ・点数ではなく、個人の特徴を評価する教育
- ・喋ることもヒアリングももう少しやってもらえたらいいなと思います
- ・外国人(外国語)と接する機会が少ない子にとって、早い段階で英語に親しみ、興味を持ちより身近な物となり、将来の選択枠や、自身のスキルアップに繋がる事を期待したいと思っています
- ・外国人教師との直接のコミュニケーションによって、様々な人種を理解するきっかけにもなると思います

4 実践の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

本校では教育目標を「夢や希望をはぐくみ個性を生かして学ぶ児童の育成」とし、児童の学ぶ意欲を向上させ、一人一人が「わかった」「できた」と実感できる授業づくりを行っている。小学校1・2年生における外国語活動の効果と課題は以下のとおりである。

【効果】

- ・ワークシートなどを活用し(文字を介さずとも)、会話を通して学ぶことができています。
- ・ALTが児童の発達段階に合わせた英語の歌やゲームを作成し、児童が楽しみながら英語学習(第二言語学習)に取り組むことができています。

【課題】

- ・苦手意識をもっている児童が、「英語が楽しい」と感じることができるよう、学習課題や活動内容などをさらに工夫していく。
- ・学習到達目標や学習した内容、学習状況について、児童だけでなく保護者にもホームページやCan doリストで周知を図るようにする。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

パフォーマンステストについては、テスト前の授業などにおいて時間を設定して練習に取り組んだが、練習量が十分ではなかった。児童が自らの学習を調整しながら、効果的で楽しく取り組める練習方法を紹介するなどして、児童の自主的に練習に取り組む姿勢を育みたい。また、国語など他教科の学習内容と言語活動を関連付けて単元づくりに取り組み、英語を使って自分の考えや気持ちなどを伝え合う力を身に付けさせたい。

スモールトークでは、即興性と話題の深まりを向上させたい。5W1Hを使った活動やグッドモデルの児童を見せて、聞く姿勢や答え方について学習させていきたい。

6年生のGTEC Juniorにおいては、昨年度に比べて全体のジュニアグレード4の値が

1.6%上昇し、68.5%となった。「話す力」の「自分のことについて伝えられる」の分野の正答率が58.1%であり、本校の課題と言える。

5. 課題の改善のための取組の方向性

低学年の児童が外国語活動に意欲的に参加できるように、英語専科教員やALTだけでなく、学級担任や他の先生方の協力を得ながら複数の目によるサポート体制を整える。また、児童の学習内容の理解が深まるように、自己紹介やTPRを行い、定着を図る。学校のホームページを活用して、年間の学習計画や授業での様子などを紹介し、保護者に理解してもらえる手立てを行う。

パフォーマンステストに向けて、教科書で取り扱う学習内容を活用できるようにし、練習に取り組んでいく。クロームブックのスライド機能を活用して、画像を張り付けたり、英文をタイピングさせたりして、自分の伝えたい内容を明確にしていく。また、3～4年生では、非言語（ジェスチャー、アイコンタクト、クリアボイス）等に積極的に取り組ませていく。

6年生は、中学生になっても自信をもって英語学習に取り組んでいくことができるように、教科書だけでなく、navimaやドリルプラネットの問題を活用するなどして多様な活動を行い、4技能の向上を目指していく。